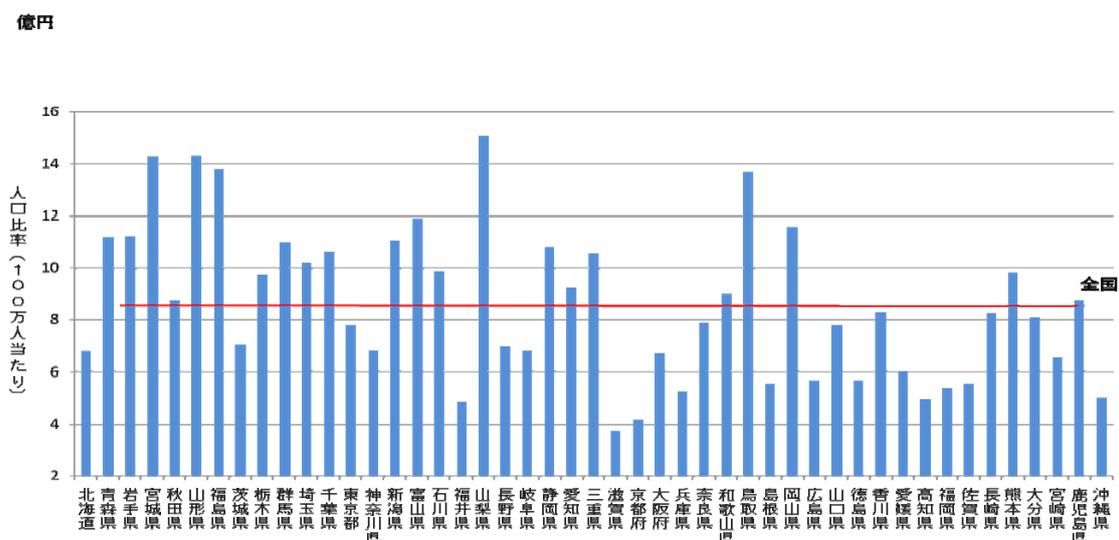


2-3-7 都道府県別がん検診費用

厚生労働省が2008年12月26日に発表した「市区町村におけるがん検診の実施状況等調査結果」によると、市区町村のがん検診費用を都道府県別に集計した値において、人口比率で金額に4倍の開きがある。今後、検診費用と検診率、検診費用とがん発見数などの関係について、都道府県別に分析を行っていく必要があり、そのためにも情報の定期収集と公表が欠かせない。

平成19年度都道府県がん検診費用(実績)



出典：厚生労働省公表資料を元にながしけんWGにて作成

3 意見集約のプロセスとアンケート結果の概要

がん予算WGにおいては、担当委員の知見は限定されていると考え、幅広く意見を聴取するため、下記のようなアンケートやタウンミーティングなどを実施した。また、職能団体、がん関連学会にも意見を聴取した。そこから寄せられた多数の意見を、本提案書の資料編に掲載した。現場と地域の声を広く集めたという意味で、がん対策と予算を考えるにあたって、これまでにない画期的なプロセスであると考えられる。

3-1 都道府県庁がん対策担当者アンケート

まず、都道府県庁担当者アンケートを実施した。47都道府県に依頼をした。この結果、25人の回答があった。

3-2 都道府県がん対策推進協議会委員アンケート

また、都道府県がん対策推進協議会等を対象としたアンケートを実施した。47都道府県に各県のがん対策推進協議会委員へのアンケート転送を依頼した。これにより、委員156人から回答があった。